

さとわ

No.21

さとわ

緩和ケア病棟「郷和」理念

1. 豊かな自然環境の中で、その人の気持ちに添ってケアするとともにその家族を支援します。
2. その人のもつ苦痛の緩和につとめます。
3. その人の希望に添って自宅での生活を支援します。



「郷和」からのお便り

施設長 篠川 主

新型コロナ感染が明らかになって以来各病院では厳しい面会制限が始まりました。その後各病院間に面会制限の方法に差を認めるようになっております。一方一般社会では現在感染対策にあまり関心がもたれなくなっているように感じます。郷和には「患者様と少しでも長く一緒に過ごしたい」と希望されるお家族様が相談においでになります。

5月13日の新聞に、1定点医療機関当たり新型コロナウイルス感染者数は新潟県が、47都道府県の中で一番高いという報道がありました。このことは直ちに大騒ぎするような数値ではありません。感染者が全国で減少傾向にあるとは言え、まだウイルスが消えたわけではないということを意識する必要があります。いまだに新型コロナウイルスのクラスターを認めることがあり、他の感染症も含め、重篤な基礎疾患をお持ちの患者様には病状を悪化させる危険があります。郷和は入院される方の予後を踏まえ、なるべくお家族様と過ごす時間を確保したいと工夫してまいりました。現在面会時間は14時から20時まで、人数は5人まで、年齢制限なし、外出・外泊は可能な限り認める方向で対応しております。これは医療従事者だけでなく、お家族様の感染対策に対する御協力があることが可能になると考えております。

最近郷和は入院相談から入院までの待機期間が例年になく短くなっております。また入院に至らず病状が悪化される患者様も居られます。早期の入院ができるようスタッフとも協力し努力しておりますが、全ての患者様を受け入れることはできず申し訳ございません。入院された患者様の中には「郷和に来るとすぐに死んでしまうから来たくなかった」、とか「誰にも言わないから早く逝かせてくれ」とおっしゃる方も居られます。緩和ケア病棟は安楽死を行っているところではありません。原疾患に対する治療の選択がなくなった時点で一般病棟に入院していても、緩和ケア病棟に入院していてもいずれ最期の時が来ることに変わりはありません。残された時間を少しでも穏やかに過ごせるように努め、最期までその方らしく生きて頂くということが私たちの願いです。

厳しい面会制限の中で始めた、郷和の庭のプランターでの花や野菜作りは多くの患者様に喜んで頂くことができました。今年是一部準備が遅れ、今慌てて作業を進めているところでございます。郷和の自然に恵まれた環境で、短い命の作物もそこに加わろうとしております。全ての命を慈しみながら、緩和ケアの質の向上に努めております。緩和ケア病棟「郷和」という存在があることを、心に留めておいて頂ければ幸いです。

30年近く前に瀬戸内海にある大三島という島を訪れたことを思い出しながら、この原稿を書いています。今でこそ「しまなみ海道」ができてバスや車、自転車でも行けるような場所になりましたが、当時はのんびりと船で渡りました。なんでも有名な神社があるという「神の島」だそうです。車はほとんど通らず、コンビニも街灯もない。夜になると屋外は真っ暗やみ。静まりかえって路上の話し声が遠くまで聞こえそうでした。

思えば、かつてはそれが当たり前だったんでしょう。日が暮れば家のなかで過ごし、翌朝明るくなるまで眠って過ごす。時代劇のナレーションで「草木も眠る丑（うし）三つどき」は、およそ午前2時から午前2時30分ごろにあたり生きものすべてが眠っている時間ということになります。ちなみに江戸時代は日の出から日没までと、日没から日の出までをそれぞれ6等分して一刻としていたそうです。そうすると春分と秋分では昼と夜が一緒ですが夏に向かって夜が短くなり冬は夜が長いので、一刻の長さが季節で変わったんだそうです。



現代は、夜でも昼間のように燦々と明るい場所があり、昼と夜の境がはっきりしなくなって、夜間でも活動できるようになりました。『郷和』の看護は、日昼勤務の「日勤」と準夜帯-深夜帯を連続して勤務する「夜勤」の二交代制です。夜勤は、短い休憩をはさんで約16時間、病棟のすべての仕事をやってくれています。翌朝、夜勤を終えた看護師さんの申し送りをきいていると、この長い夜が寝静まって穏やかでした…ってことはなかなか稀です。スポーツで試合の大事な場面とかゴールマウスを守る選手のことを「守護神」っていいいますが、夜勤の看護師さんも守護神です。夜はヒトにとってほんらい眠って休む時間だから、非生理的な勤務。

ふだん改めて感謝する機会も少ないので、この紙面をお借りして感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございます。



私は以前、緩和ケア病棟「郷和」が開設されて間もないころに勤務しておりました。この度、縁あって再び緩和ケア病棟「郷和」に戻ってまいりました。「憩いの間」から眺める景色は当時と全く変わることなく、雄大な山々を望むことができます。また、近隣の村松公園では、春には桜が咲き誇り、秋には紅葉を楽しむこともできます。「郷和」の中庭での散歩でも四季の移ろいを感じることができます。患者様・ご家族様ともに落ち着いた環境で過ごす事ができるよう、施設内はゆったりとした造りになっており、病室も全室個室となっております。また、ボランティアの方々に協力していただき、季節ごとのイベントも行っております。

「郷和」では、医師・看護師だけではなく、様々な職種やボランティアの方々と協力し、患者様だけでなく、ご家族様の苦痛のケアも行っております。患者様・ご家族様の想いに寄り添い、患者様の苦痛の緩和に努めます。そして、「患者様が、患者様らしく生きる」こと。大切な方々と穏やかな時間をすごすこと。そのお手伝いをさせていただきたいと思っております。

緩和ケア病棟の医療相談員として

南部郷厚生病院 医療相談員
秋元 伸仁

緩和ケア病棟「郷和」は2001年7月に開設し、今年で25年目を迎えます。

今までたくさんの方から緩和ケア目的でご利用いただいております。患者様とご家族様にはよい時間を過ごしていただいているのではないかと感じております。しかし、中には入院待機中にお亡くなりになったり、入院早々に状態が悪化してしまった患者様もあり、もう少し早く相談に来ていただければと思うことがあります。

入院相談時、患者様・ご家族様のお話をよく聞く（聴く）ことを心がけております。紹介されて来られる患者様・ご家族様は病気や今後についての不安を感じていらっしゃると思います。医師からの病状説明時、泣き崩れる方もおります。その姿を私は忘れることはできません。相談時には告知状況・予後についてどのように説明されているのかとともに、入院後どのように過ごされたいか意向・希望等確認しております。それに合わせできるだけ対応できるようなところをかけております。

また、ご利用された患者様のご家族様よりありがたいお言葉や、時には対応について厳しいお言葉をいただくことがございます。厳しいお言葉については真摯に向き合い改善に取り組んでおります。今後の対応に対する期待と捉えスタッフ一同感謝するとともに、励みにさせていただいております。

今後も緩和ケア病棟「郷和」が患者様・ご家族様にとって安らぎの場所、地域になくてはならない存在となるよう努力して行きたいと思っております。

ボランティア係より

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
安川 良美

昨年度よりボランティア活動を再開し、少しずつ拡大して本格的に外部からのボランティア活動も再開しております。音楽による癒しや季節感の味わえる行事を行い、日々の楽しみの一つになるようボランティアさんとともに活動させて頂いております。

今後も郷和の庭の手入れを行い、四季の彩りが楽しめるよう頑張っていきます。



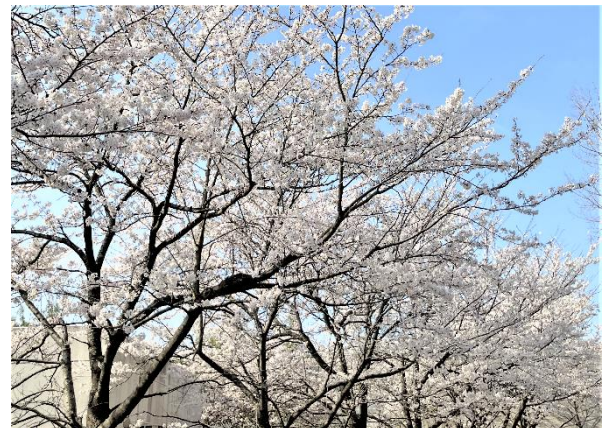
遺族会係より

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
佐藤 直美

昨年までは、新型コロナウイルスで開催できなかったご遺族の方々の「家族の会」を、年2回開催しておりましたが、今年からは通常の年1回の開催となります。

日々、患者様やご家族と向き合いケアをしておりますが「家族の会」では、その時の思いや、退院後のことなど改めて聞かせて頂ける貴重な時間となっております。

皆様の参加お待ちしております。



緩和の看護師として

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 看護師
渡邊 菜摘

昨年より郷和に配属となりました。未熟な自分にとって、郷和での経験は多くの学びや気づきを与えてくれています。相手に寄り添うとは何か、痛みなどの症状を取り除くだけでなく、生きてきた背景、価値観、希望、様々な角度からその人らしさを捉え尊重することです。

確かな知識や技術は勿論、患者様本人やご家族が辛い状況にある中でどこまでその気持ちに寄り添ったケアが行えるか、を大切にしています。

ここに来て良かったと思っていただけるような看護を提供できるよう今後とも努力してまいります。

2024年度 実施行事

4月	お花見	10月	コースター作成
5月	端午の節句	11月	焼き芋
6月	菖蒲湯、梅ジュース、 梅酒作り、ゴスペルコンサート	12月	ゆず湯、クリスマス会
7月	七夕、ライアー演奏会	1月	鏡開き、初釜
8月	夏祭り	2月	節分
9月	長月コンサート	3月	ひな祭り、オカリナ演奏会

「郷和」利用状況

(2024年4月～2025年3月)

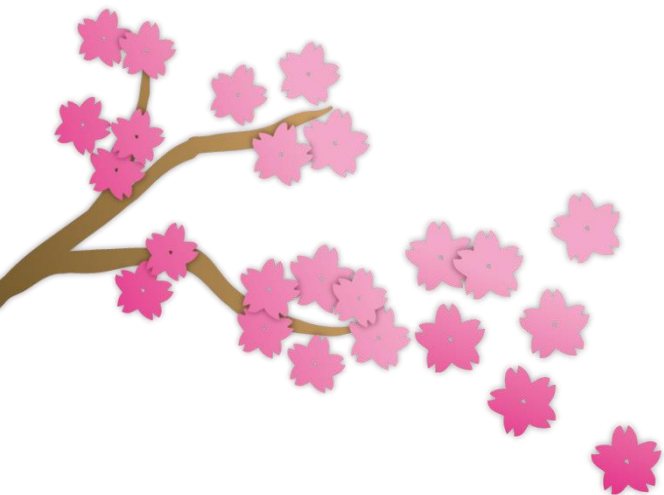
入院患者数	93人
-------	-----

退院患者数	91人
(死亡退院)	89人
(転医)	1人
(自宅退院)	1人

一日平均入院利用者数	14.2人
------------	-------

平均病床利用率	70.9%
---------	-------

平均在院日数	57.2日
--------	-------



発行年月 2025年6月

編集・発行 南部郷厚生病院

緩和ケア病棟「郷和」

〒959-1765 新潟県五泉市愛宕甲2925-2

TEL(0250)58-6111(代) FAX(0250)58-7300

ホームページ <https://www.sinjinkai.or.jp/kanwa/>

メールアドレス kosei@sinjinkai.or.jp